



上) 町長への九州大会の報告
下左) 九州大会での大会風景
下右) 部長の井芹怜斗君

目標あらたに次への挑戦

12月7日、8日に大分県大分市で開催された、第15回創造アイデアロボットコンテスト九州地区中学生大会授業内部門に、御船中学校(加藤敬之校長、430人)ものづくり部が出場しました。残念ながら、11年連続の全国大会出場を逃したものづくり部。部長の井芹怜斗君は「今大会は、前回よりレベルの難易度が上がり、ロボットのアイデアがなかなか出ませんでした。完成したのは県大会前日で、応用部門に出場したチームは、ロボットの不調で全てのチームが予選敗退になってしまいました。九州大会に出場した授業内部門は、全員が1年生だったので、部員全員でサポートしましたが、全国大会出場は出来ませんでした。全国大会の連続出場は途切れましたが、熊本県は全国でもレベルが高いので、1・2年生には、部の技道の心得である、あいさつに学ぶ、ともに学ぶ、ものに学ぶ、掃除に学ぶ、時間に学ぶを大切にして、もう一度部員全員で全国大会出場を目指してほしいです」と後輩たちにエールを送りました。

- 【九州大会出場チーム】()内は出場者名。敬称略
- ファイヤーロボ(本田颯汰・中村駿斗・小齊平萌生)
 - ネバーギブアップ(上野顕司・村崎竣)
 - 不死鳥～フェニックス～(江原宇恭・八並新・内山龍真)

この中には、なにが入っているかな?

12月10日、上野保育園(宗心みどり園長、47人)へ、御船母子・寡婦福祉会(春岡和子会長、40人)から、会員6人が手作りした、おじゃめ100個がプレゼントされました。春岡会長が袋の中からおじゃめを取り出すと、園児たちはうれしそうにおじゃめを持ち、会員3人と一緒におじゃめ遊びを楽しみました。会では、手作りのぞうきんを小学校へ贈ったりするなどの活動を行っており、現在ひとり親会員を募集しています。詳しくは会長までお尋ねください(☎282-1450)。



手作りカレンダーを配達

12月24日、七滝中央小学校(木屋秀章校長、75人)の6年生が、2014年版画カレンダーを近くの福祉施設に届けました。今年で7回目。「今年も頑張った。来年も頑張るぞ。という気持ちで版画を作りました。いろいろな人に見てもらいたいです」とカレンダーを手渡したあと、施設利用者の肩もみをして交流しました。カレンダーは、児童たち10人が作成した、サッカーやバスケットボールなどの版画と児童の顔写真が入っており、学校近くの駐在所やお店にも配られました。



2年・3年の部で同時優勝!御船REX

11月23日、第1回焼肉なべしまプレゼンツR K Kミニサッカー大会が県民総合運動公園で開催され、御船REXジュニアサッカーチーム(永野英二監督、40人)が2年生の部、3年生の部で同時優勝を果たしました。永野監督は「週に2回の練習と週末には多くの大会に出場し、レベルを上げてきた。子どもたちの努力の成果が実った結果です。これからも、練習に励んで結果を残していきたいです」と話してくれました。



五穀豊穣に感謝して

12月1日、江戸時代から続くと伝えられている滝尾玉虫地区の「節頭回し」が玉虫公民館で行われました。

五穀豊穣に感謝して行われるもので、一升三合三勺(約2.4㍑)の大杯に、両親が健在している男女2人によって注がれた酒を、上組、中組、下組の組ごとに、男衆たちが年の順に酒を飲み干し、最後の一人が空になった大杯を頭にかびりました。豪快な飲みっぷりと大杯を頭にかぶる姿に、参加者から盛んな拍手が送られました。



1年を締めくくる行事

12月8日、七滝小川野公民館で、地域行事の世話役を交代する行事として「節頭回し」が行われました。世話役は「請元」と呼ばれており、引き渡す側と引き受けの側のそれぞれ2人が、直径30㌢、深さ20㌢のすり鉢に注がれたお神酒を飲み干したあと、すり鉢を頭にかびりました。すり鉢をかぶると、参加者から盛んな拍手が送られました。小川野区の福嶋区長は「生活改善センターの床を改修して初めての節頭回しだった。床が新しくなったので、今後は地域の集まりも増やしていきたい」と話してくれました。



地域と学校が一つになって

12月8日、小坂小学校(吉見和洋校長、164人)で午前中に学習発表会と午後から餅つき会が開催され、児童や保護者、地域住民が参加しました。地域の協力の下、児童たちへ伝統行事を伝えようと約30年ぶりに復活した餅つき大会。住民を含めて準備委員会を立ち上げ、もち米や道具の準備も進められ、当日は児童や保護者と地域住民が一体となって賑やかに行われ、餅つきを楽しみました。今後も児童たちへ伝統を伝えていくため、地域の行事の一つとして続けていかれます。

